

三者連絡会(教授職員会、琉大労組、琉病労) ニュース 第48号

2011年8月23日 事務局 琉球大学教授職員会 (内線 2023)

E-mail kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp <http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~kyoshoku/>

琉大労組(内線 2024)、 琉病労(内線 7-2099)

附属病院パワハラ訴訟に対する支援にとりくみます

琉大に働くすべての職員の皆さん！三者連絡会では、組合員からの要請を受け、医学部附属病院検査部・輸血部職員の受けているパワーハラスメントに関わる民事訴訟の支援活動をするを正式に決定いたしました。一部新聞報道にも出ていますが、検査部・輸血部職員が部長による不当な人事・配置換え、業務の剥奪などが行われたことに対し、パワーハラスメントの事実を認めること、大学当局の責任を認めることを求め、また損害賠償請求を求めています。現在裁判は第二回公判まで終了し、これから論点が設定され具体的にパワハラの実態に対する具体的事実が争われます。第三回公判は、8月31日11時30分より那覇地裁で行われます。

原告である組合員のみなさんの訴えを受け、三者連絡会として原告のみなさんからも具体的な職場の状況を聞き取り、やはり職場においてパワーハラスメントが実施されてはいけない、無様な状態で仕事を強いられている職員の救済は急務であるとの認識にたち、三者連絡会としてとりくみをすすめることになりました。

具体的には、2つのことにとりくみます。

一つ目は、訴訟支援を実施いたします。「琉大医学部附属病院パワハラ訴訟を支援する会」を、三者連絡会を事務局としてつくります。そこで多くの支援を募り裁判を支援していきます。具体的には、傍聴支援、報告集会等の開催、裁判の論点・問題点の共有を行い、この問題を広く社会に発信します。

二つ目は、団体交渉により「職場のルール」づくりをすすめます。具体的に大学当局との団体交渉を通じて、ハラスメント委員会等の大学における調査改善を行う機能の実効性を高め、あらゆるハラスメントを許さない職場づくりをすすめます。具体的に人権侵害、職場における不当な扱いを受けている組合員の救済ならびに職場改善を求めています。

ついでには、「琉大医学部附属病院パワハラ訴訟を支援する会」の結成総会を下記の日程で開催します。ぜひ多くのみなさんにご参加いただき、本訴訟に関する理解を深めていただき、ルールある職場、私たちが働きやすい職場づくりのためにご協力をお願いいたします。

琉大医学部附属病院パワハラ訴訟を支援する会」結成総会

日時：2011年8月26日(金曜日)18:30～

場所：理学部114教室

内容：三者連絡会のとりのくみ紹介

：原告からの訴え、弁護士による裁判の論点報告

参加費：無料(支援会の入会は無料です。支えるためのカンパをお願いする予定です)

三者連絡会(教授職員会、琉大労組、琉病労)ニュース第4号

2012.12.17